

無料セミナー
好評につき
東京会場
開催

「変化に強く、折れない心」を育てる レジリエンス育成セミナー

【目的とねらい】

子供からビジネスパーソンにいたるまで、困難やトラブルに見舞われると、精神的に落ち込んでしまうものです。その落ち込んだ状態からどれだけ早い時期に立ち直っていくかという精神的な力、失敗などの逆境を乗り越える力が『レジリエンス』です。現在、企業内研修においても取り入れられ注目を集めています。

セミナーでは、レジリエンスの基本知識を学び、レジリエンスプログラムの実施事例を紹介し

(1年間、プログラムを導入して得られたデータを、さまざまな視点で分析、検証します)。

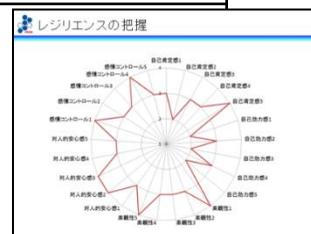
実際の授業の一部も体験して頂けます。貴学学生の「変化にしなやかに対応できる力」の育成に是非お役立てください。

東京会場

日時	平成28年 8月5日(金) 13:30-16:30(受付:13:10-)	
場所	すみだ産業会館 第3会議室 東京都墨田区江東橋3丁目9番10号	
定員	定員20名 (先着順に受け付けます)(1校2名様まで)	

【セミナー内容】

時間	内容
13:10-	受付開始
13:30-	<input type="checkbox"/> ご挨拶 ■第一部 「レジリエンスの基本」 <ul style="list-style-type: none"> ・取り巻く環境の理解 ・なぜレジリエンスが必要とされているのか ・誰にでもレジリエンスを引き出すことができる
16:30-	■第二部 「レジリエンスプログラムの体験」 <ul style="list-style-type: none"> ・レジリエンスプログラムのミニ体験 「レジリエンスプログラムの実践事例」 <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育における実践事例 プログラム導入(1年間)の結果を紹介 データの分析と検証、見えてくるもの ・企業研修における実践事例 <input type="checkbox"/> アンケート記入、質疑応答 <input type="checkbox"/> 終了



最近の学生の傾向・現状

最近の学生の動向

- やる気がない
- すぐにあきらめる
- 自信がない
- ルールが守られない
- 他人とコミュニケーションがとれない
- 自分をコントロールできない(キレル・逃げる)
- 前触れもなく退学してしまう
- 学力がない
- 辛抱強さがない
- ミーイズム(自分さえよければいい)

友達ができない
周りに流される
孤独 私なんて、自信がない
自分さえよければいいや
どうでもいいや、
逃げています



学生が変わったと言われる、その正体とは？

真のゆとりの正体は、若者の**性格の未熟さ(経験値の少なさ)**で、
全てではないにしろ多くの部分を説明できる

(出典:「今の学生の動向について」(株)HCC資料)

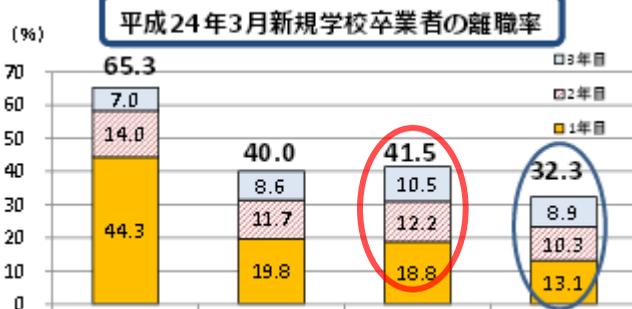
専門学校の中退率

年度	学生数	中退者	退学率
平成22年度 2010年度	564,640	28,374	5.0%
平成23年度 2011年度	574,152	29,761	5.2%
平成24年度 2012年度	578,119	30,322	5.2%

文部科学省 学校基本調査

平成25年度文部科学省委託事業「専修学校における生徒・学生支援等に対する基礎調査」

新規学卒者 3年以内の離職率



中学卒 高校卒 短大卒 大学卒

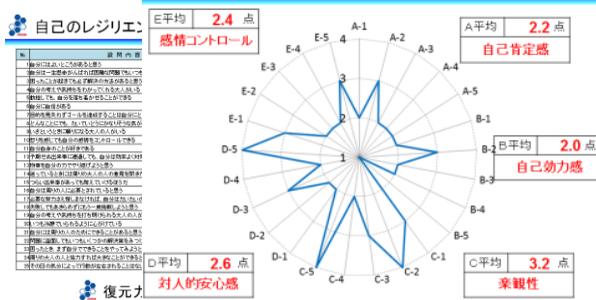
(出典:厚生労働省)平成27年10月30日発表

レジリエンスとは？

レジリエンスとは、「逆境や困難、強いストレスに直面した時に、適応する精神力と心理的プロセス」と言われています。精神的に落ち込んでからどれだけ早い時期に立ち直れるか、失敗などの逆境を乗り越える力のことです。現在、教育現場や企業内研修においても取り入れられ注目を集めています。

レジリエンスの基本知識を学び、**育成の失敗や離職、メンタルダウンを防ぎ、前向きな気持ちとしなやかな対応力を付与します。**「変化にしなやかに対応できるレジリエンス力」の育成につなげます。

レジリエンスの把握



【プログラム導入先の学生の声】

- レジリエンス測定をしてみて改めて自分に足りないものが見つかった気がする。まずはいろいろな実体験につながる様なチャレンジを沢山していきたい。そして、自分を好きになって誇らしい人生を歩んでいきたい。社会人になって得られる失敗や成功を早く味わってみたいと思った。
- 私は結構ネガティブになることがあるので、どうすれば自己効力感を鍛えられるのか、ポジティブな人の特徴は何か知ることができて良かったです。社会に出てからギャップを感じて惑わない為にも残りの学生生活でレジリエンスマッスルを意識して過ごしたいと思います。
- グラフでも意外とよい結果が出ていて驚いた。この結果はおそらく就職試験にチャレンジしたこともあると思いますが、一番は周囲のおかげだと思う。頼れる人がいるだけで重い気持ちも少しは軽くなるし頼られることで必要とされていると実感できる。2つの「頼」が重要と学んだ。



【プログラム導入先の教員の声】

- 「レジリエンス」ということば自体が、学生にもかなり浸透してきたように感じる。実施期間の様々な体験を通じて、レジリエンスの重要性を学生自身が実感しているのではないかな。
- 各種データ項目について、レジリエンス・プログラムを実施する前と実施後と比較すると、数字の上で確かな改善が見られた。例年のカリキュラムに加えた変更はこのプログラムのみであり、効果が表れたといえる。



【前回セミナー 参加された先生方の声】

- レジリエンスについては以前から取り入れたいと考えていたが、具体的な話や事例を聞くことが出来て良かった。
- 今の学生には非常にマッチした内容だと思いました。
- 日頃感じていることを他校の職員と共有できてよかった。
- 育成の具体的なプランを知り、本校の学生に伝えるイメージを考えたい。
- レジリエンスを向上させる手法・手順の参考になりました。今日学んだことを教務でフィードバックして、成長していきたい。



【セミナー担当講師】



田中 正敏

複数のコンサルタントと企業・学校の教育現場のコンテンツ開発を進める。共同開発のプロジェクトリーダー。現場に即したプログラム開発には定評がある



古垣 みゆき

大学・専門学校において数多くの授業コンテンツを開発し、教育現場でクラスマネジメントの指導にもあたっている。教員の教え方のスキル指導には定評がある



植松 和之

企業において多くの教育研修を担当し、受講者の視点に立ち、ポジティブで熱心な指導を行う